

Sx500シリーズスタックابلスイッチの設定のコピーと保存

目的

このドキュメントの目的は、Sx500シリーズスタックابلスイッチでファイルのコピー/保存を設定する方法を説明することです。スイッチのデフォルト設定では、実行コンフィギュレーションファイルが使用されます。このファイルは不安定で、リブート間の設定は保持されません。

この記事では、実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーし、設定をリブート間に保持する方法について説明します。

次の用語に慣れていない場合は、シスコビジネスをご覧ください。[新用語一覧](#)。

該当するデバイス

- Sx500シリーズスタックابلスイッチ

アクティブスイッチファームウェアのコピー/保存の設定

ステップ1: スイッチ設定ユーティリティで、[Administration] > [File Management] > [Copy/Save Configuration]を選択します。[構成のコピー/保存]ページが開き、デフォルト設定が表示されます。

Copy/Save Configuration

All configurations that the switch is currently using are in the running configuration file which...
To retain the configuration between reboots, make sure you copy the running configuration...

Copy Action: Copy master firmware
 Copy configuration

Source: Software image
 Boot code

Destination Unit: Backup

Source File Name: Running configuration
 Startup configuration
 Backup configuration
 Mirror configuration

Destination File Name: Startup configuration
 Backup configuration

Save Icon Blinking: Enabled

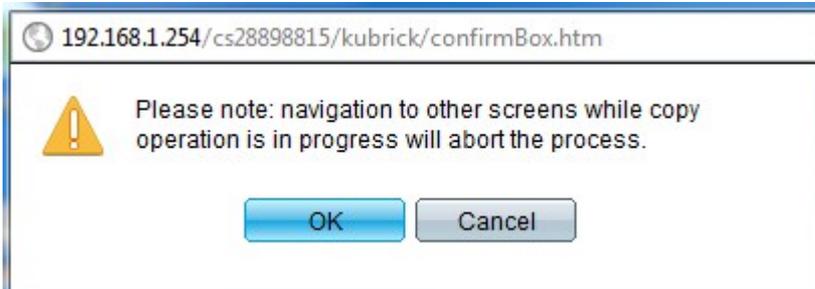
Apply Cancel Disable Save Icon Blinking

ステップ2:[Copy Action]フィールドで[Copy Active Switch firmware]オプションボタンをクリックします。

ステップ3:[Copy Action] 領域で、[Software image]オプションボタンをクリックしてルータの元のイメージを保持するか、[Boot code]をクリックしてブートするルータを指定し、フラッシュメモリに格納されている最初のIOSイメージを使用します。

ステップ4：ソースファイルで上書きするデスティネーションユニットを選択します。

ステップ5：設定を保存する場合は[Apply]をクリックします。



ステップ6:[OK]をクリックして、ファイルのコピーを終了します。



ステップ7：保存アイコンの点滅を有効または無効にするをクリックして、保存アイコンの点滅を有効または無効にします。

[Copy Active Switch firmware]オプションでは、[Source File Name]フィールドと[Destination File]フィールドは使用できません。

コピー設定のコピー/保存

ステップ1：スイッチ設定ユーティリティで、[Administration] > [File Management] > [Copy/Save Configuration]を選択します。[構成のコピー/保存]ページが開き、デフォルト設定が表示されます。

ステップ2:[Copy Action]フィールドで、[Copy configuration]ラジオ ボタンをクリックします。

Copy/Save Configuration

All configurations that the switch is currently using are in the running configuration
To retain the configuration between reboots, make sure you copy the running confi

Copy Action:	<input type="radio"/> Copy master firmware <input checked="" type="radio"/> Copy configuration
Source:	<input checked="" type="radio"/> Software image <input type="radio"/> Boot code
Destination Unit:	Backup ▾
Source File Name:	<input checked="" type="radio"/> Running configuration <input type="radio"/> Startup configuration <input type="radio"/> Backup configuration <input type="radio"/> Mirror configuration
Destination File Name:	<input type="radio"/> Startup configuration <input checked="" type="radio"/> Backup configuration
Save Icon Blinking:	Disabled

Apply Cancel Enable Save Icon Blinking

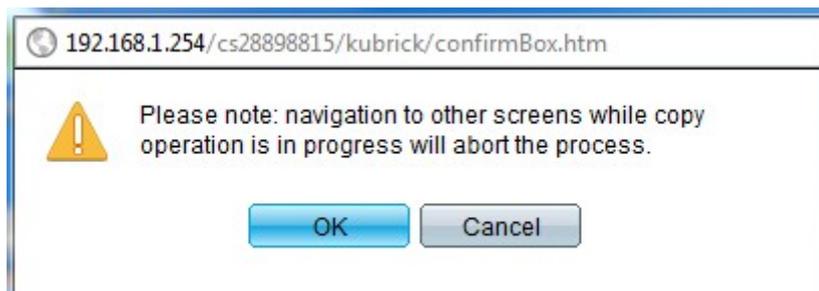
ステップ3:[Source File Name]フィールドで、[Running configuration]、[Startup configuration]、または[Backup configuration]をクリックして、どのファイルをDestination File Nameに保存する必要があるかを指定します。

- 実行コンフィギュレーション：実行コンフィギュレーションは、ルータが現在実行しているコンフィギュレーションです。
- スタートアップコンフィギュレーション：スタートアップコンフィギュレーションは、ルータのブート時または電源投入時にロードされる設定です。
- バックアップ設定：バックアップ設定により、ユーザはルータに対するすべての設定をバックアップできます。

ステップ4:[Destination File Name]フィールドで[Startup configuration]または[Backup configuration]をクリックし、ソースファイル名のコンフィギュレーションファイルを保存する場所を指定します。

注：コピー設定では、[Source]フィールドと[Destination Unit]フィールドは使用できません。

ステップ5：設定を保存する場合は、[Apply]をクリックします。



ステップ6:[OK]をクリックして、ファイルのコピーを終了します。

Copy/Save Configuration

Status: Copy finished

Done

ステップ7:[完了]をクリックして、設定の保存を完了します。

ステップ8：保存アイコンの点滅を有効/無効にするには、[保存アイコンの点滅を有効/無効にする]をクリックします。

設定を変更すると、[保存]アイコンが消えます。